

このアプローチ法には、いくつかの質問テクニックがあるのですが今日は、スケーリングクエスチョンという質問法をお話します。

▼スケーリングクエスチョンの具体的アプローチ

まず、スケーリングクエスチョンと言うのは、スケール、つまりある状況に対して尺度を設ける質問法です。

この質問をすることで、解決策が分からなく停滞している状況で今できるはじめの一歩に気づいてもらえるケースが多くなります。

具体的な会話としては、次のような感じになります。

『〇〇〇という目標をあげているんですが、どうすればこれを達成できるか
部内で相談しても、まるで解決策が出てこないんです』

「X X Xさんにとって一番良い状態を10。最悪の状態を1として、今の状態は、いくつ位
なんでしょうか？」

「かつての1から0に上がったのは、どんなことが役立ったのでしょうか？」

「0に上がっていると思うのは、どんなことが役立ったのでしょうか？」

「なるほど。すごく関心があります。お聞きしたいのですが、次にひとまずいくつになりたい
ですか？」

「そうなった時、どんな風になっているのでしょうか？」

「そのためにどんなことが出来そうですか？気づいていることを教えてください」

上記の流れを見て、お分かりになると思いますが、
スケーリングクエスチョンを行うことにより、問題に対する
ものの見方をリフレーミング（思考の枠を変える）することができます。

そして、今の状況というのは、最悪の状況からいくつか積み上げて
ある程度の結果を出していることに気づいてもらいます。

そして、一足飛びに10まで行くことは出来なくとも、
最初の第一歩として何が出来るのかに気づいてもらうことができます。

そう、つまり「継続的改善」のきっかけを掴むことができる、
そんなケースが増えてきます。

ご興味ある方、是非今回の質問テクニックを導入してみてください。
面白い結果が出ると思いますよ。